

6. 県民の国際化意識

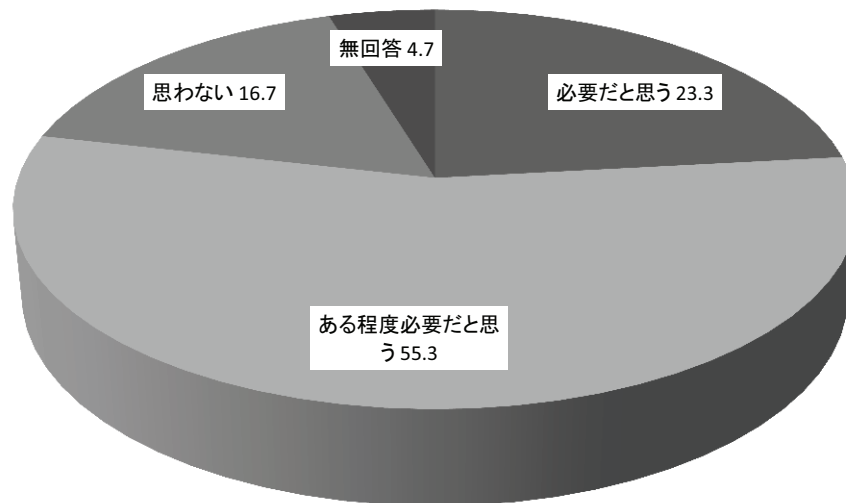
(1) 地域の国際化の必要性

問18 地域の活力向上のために、地域の国際化が必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

地域の国際化・・・日本人だけでなく外国人（外国籍県民）も安心して暮らし活躍できる社会

約8割が必要

「必要だと思う」と回答した割合が23.3%、「ある程度必要だと思う」が55.3%、「思わない」が16.7%となっている。



(単位 %)

<属性による比較>

【生活圏別】

「ある程度必要だと思う」と回答した割合は、すべての生活圏で5割を超えている。

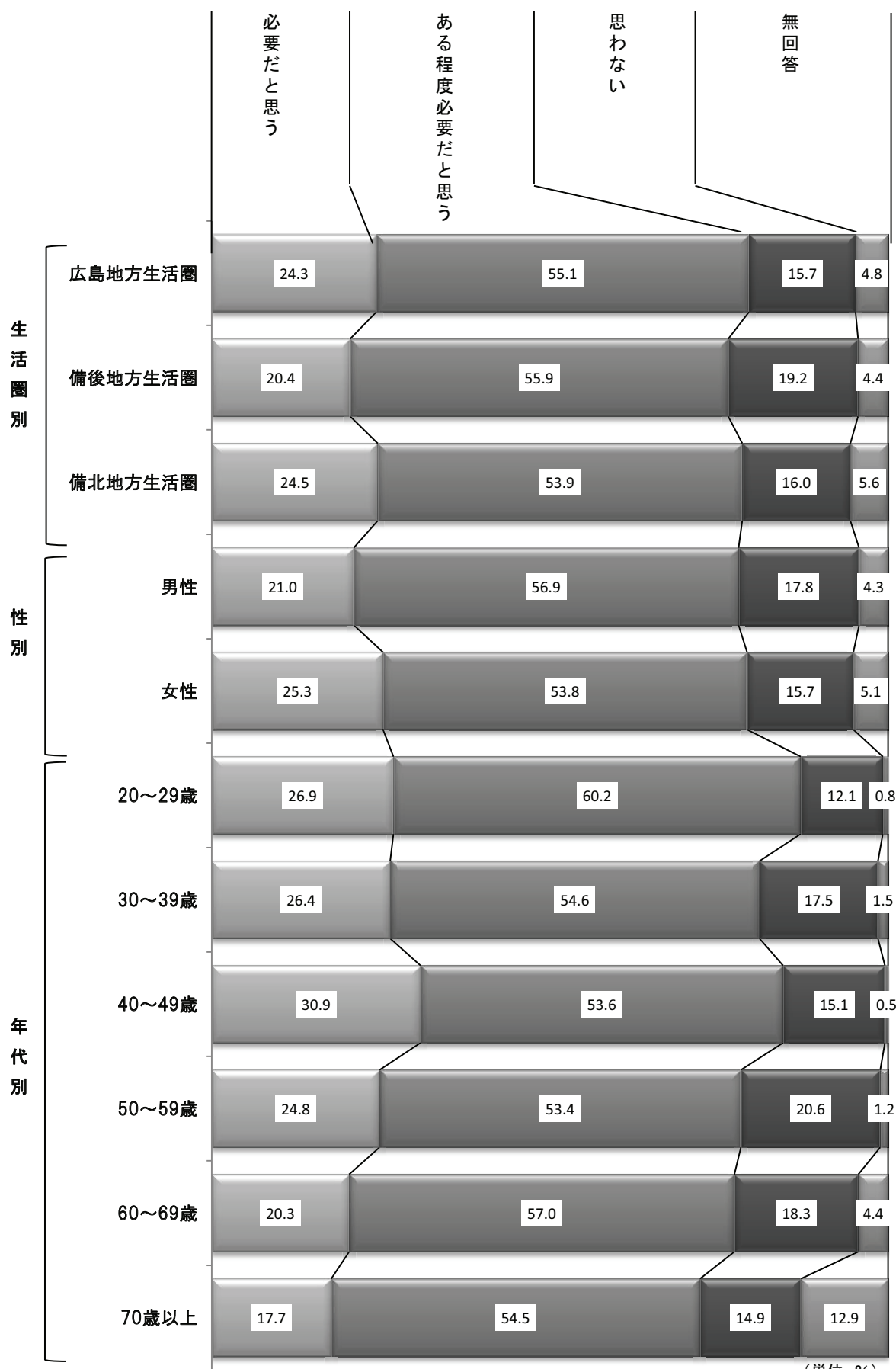
【性別】

「ある程度必要だと思う」と回答した割合は、男性が56.9%、女性が53.8%で男性の方がやや高い。

【年代別】

「ある程度必要だと思う」と回答した割合は、20歳代が最も高く6割を超えている。

地域の国際化の必要性(生活圏, 性, 年代別)



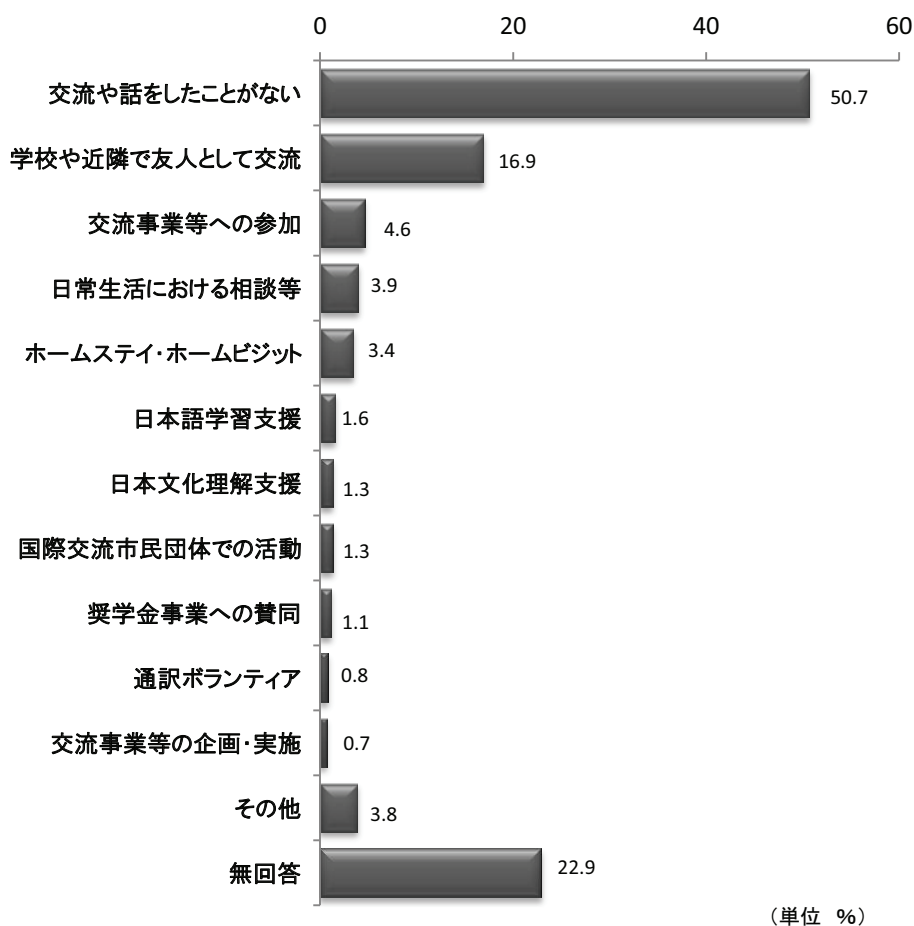
(単位 %)

(2) 外国籍県民との交流や支援の内容

問19 あなたは地域の外国籍県民と交流や支援をしたことがありますか。次のうち、したことがあるもの(番号)をすべて選んでください。(M. A.)

約半数が交流なし

「交流や話をしたことがない」と回答した割合が50.7%と半数を超えている。



<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏において「交流や話をしたことがない」が4割を超えている。

【性別】

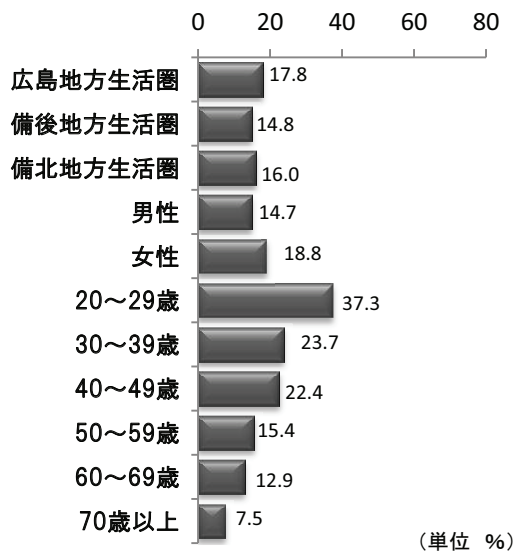
「交流や話をしたことがない」と回答した割合は、男性が56.5%、女性が45.4%となっており男性が11.1ポイント高くなっている。「学校や近隣で友人として交流」と回答した割合は、男性が14.7%、女性が18.8%となっており女性が4.1ポイント高くなっている。

【年代別】

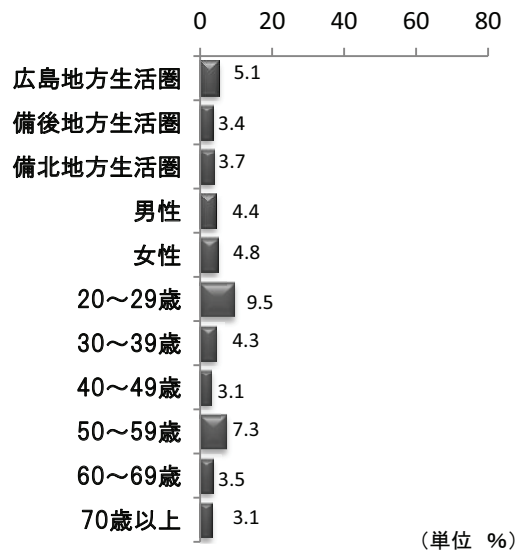
20歳代では、「交流や話をしたことがない」と回答した割合が37.5%と全年代のうちでは最も低く、「学校や近隣で友人として交流」と回答した割合が37.3%と全年代のうちでは最も高くなっている。

外国籍県民との交流や支援の内容(生活圏, 性, 年代別)

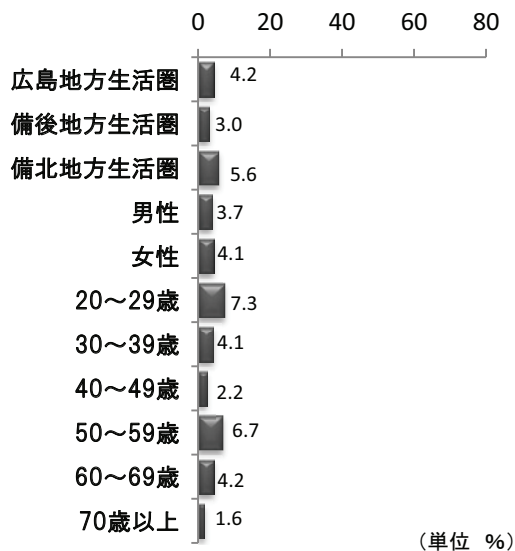
学校や近隣で友人として交流



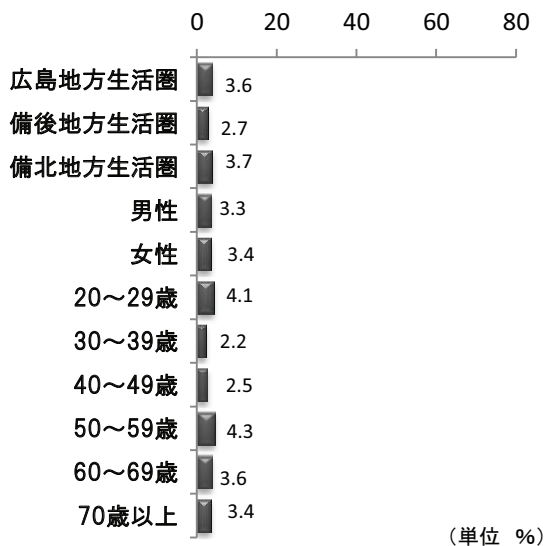
交流事業等への参加



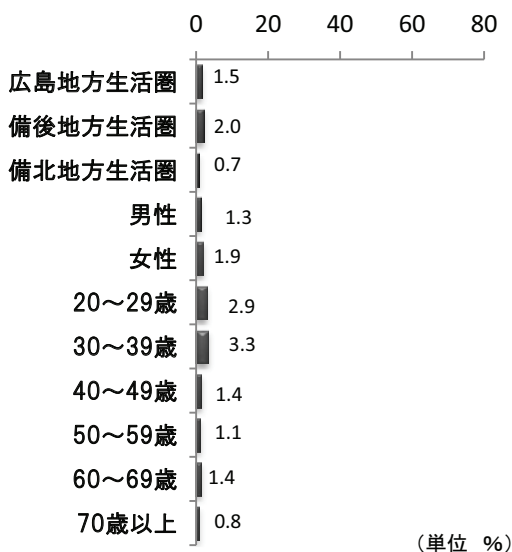
日常生活における相談等



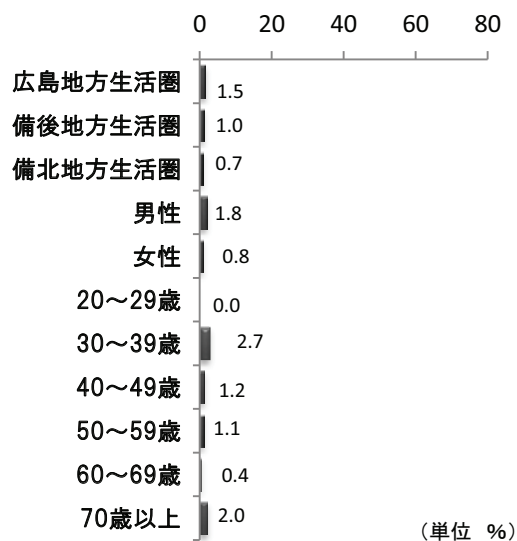
ホームステイ・ホームビジット



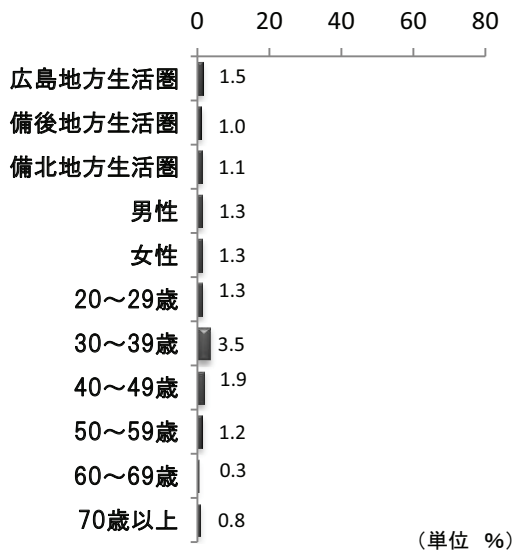
日本語学習支援



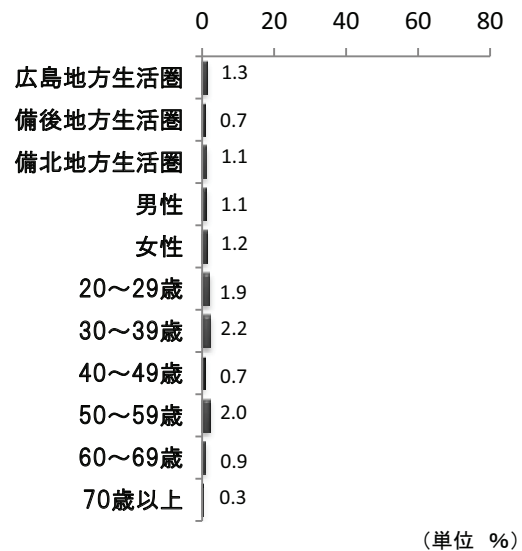
日本文化理解支援



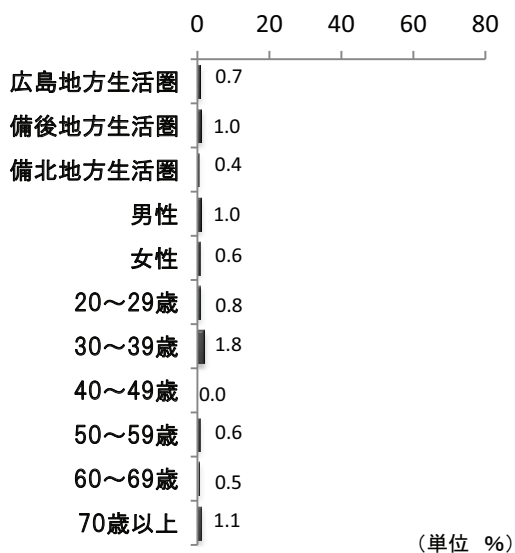
国際交流市民団体での活動



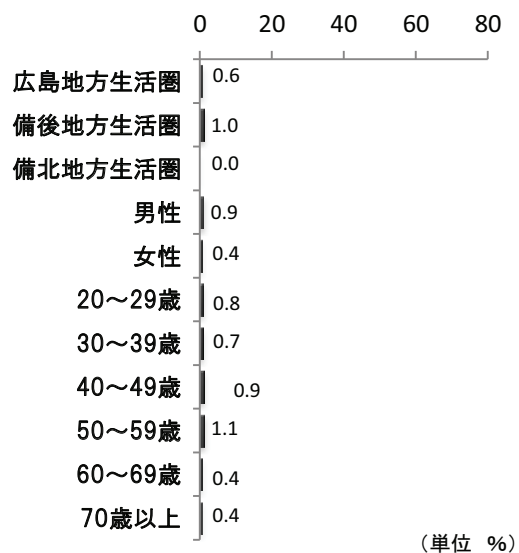
奨学金事業への賛同



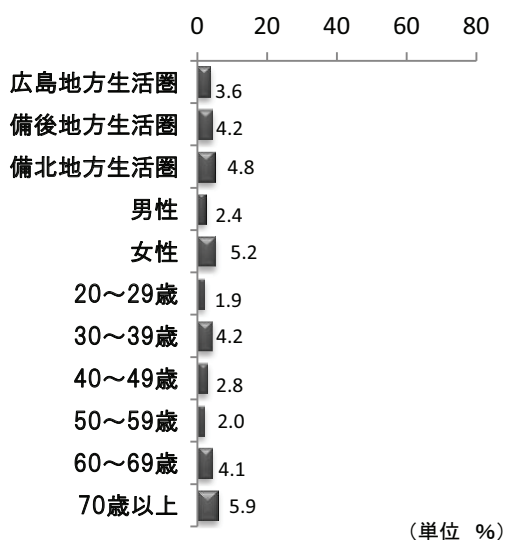
通訳ボランティア



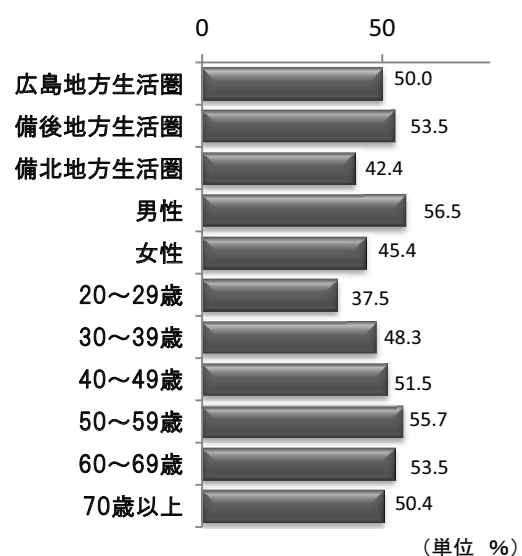
交流事業等の企画・実施



その他



交流や話をしたことがない

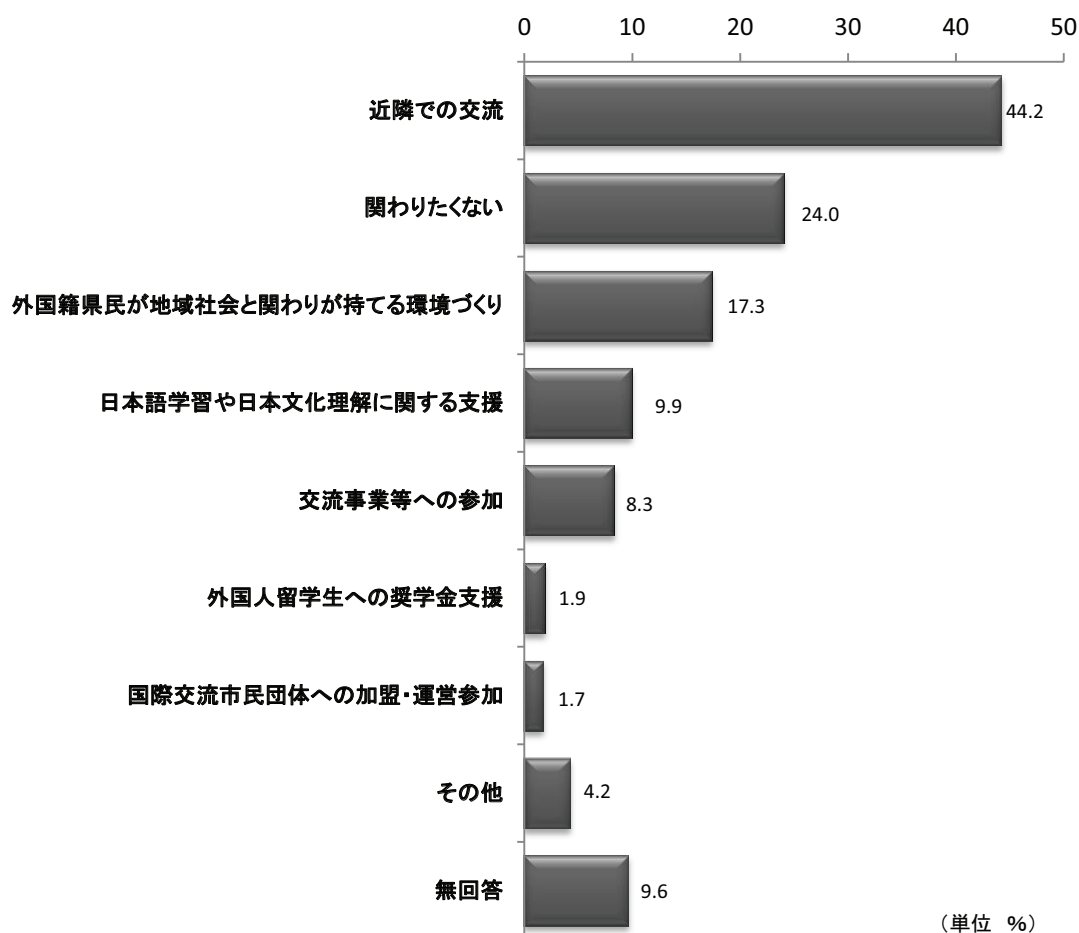


(3) 地域の国際化を進めるための関わり

問20 今後地域の国際化を進めるために、あなたはどのようなことに関わりたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

近隣での交流には、約半数が関わりたい

「近隣での交流」と回答した割合が44.2%と一番高く、次いで「関わりたくない」が24.0%、「外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり」が17.3%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏において「近隣での交流」と回答した割合が4割を超えている。広島生活圏においては「日本語学習や日本文化理解に関する支援」が11.2%と他の生活圏より高くなっている。

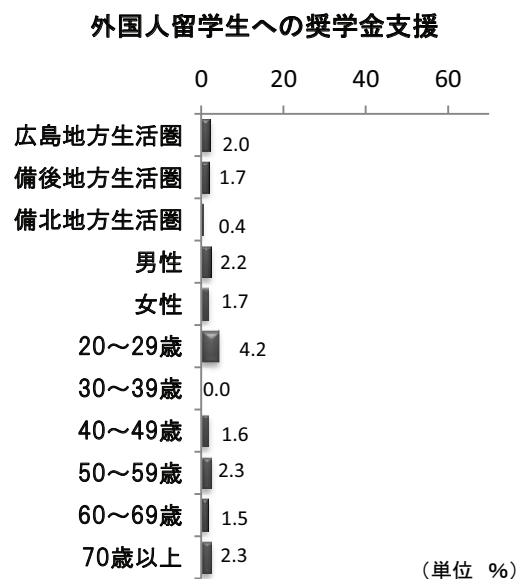
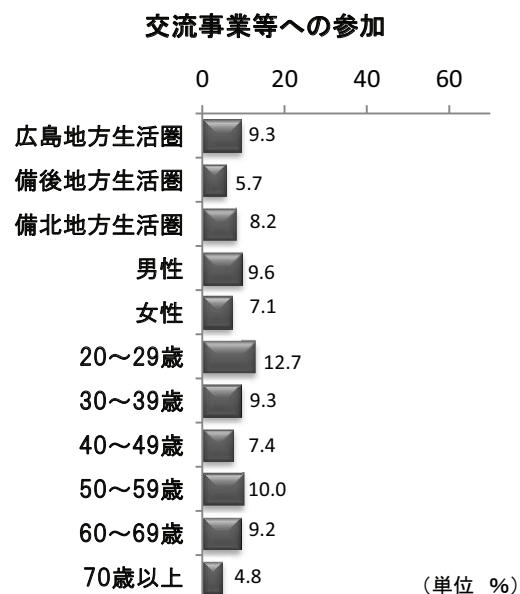
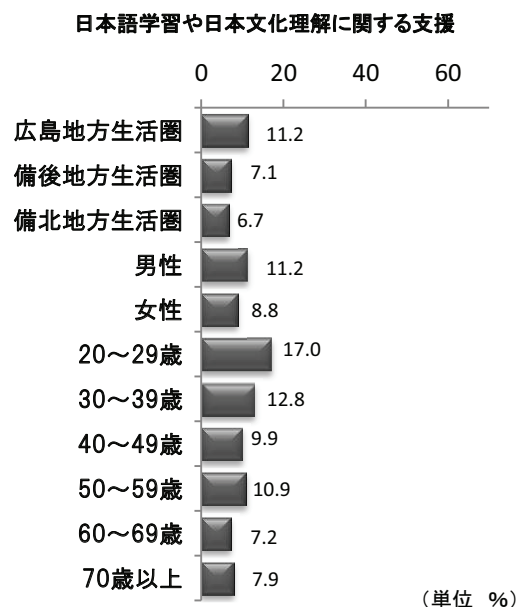
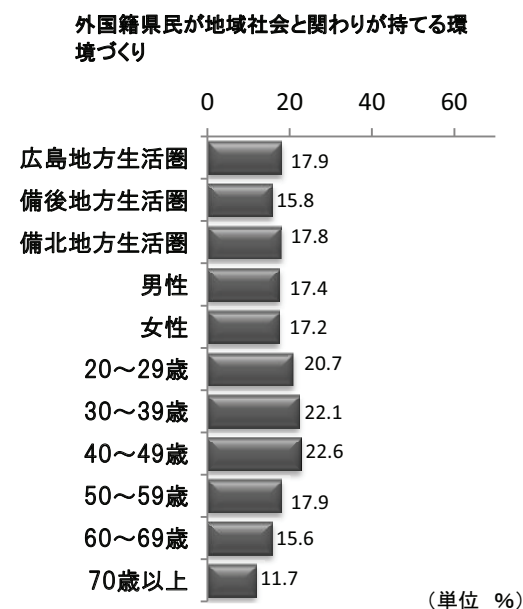
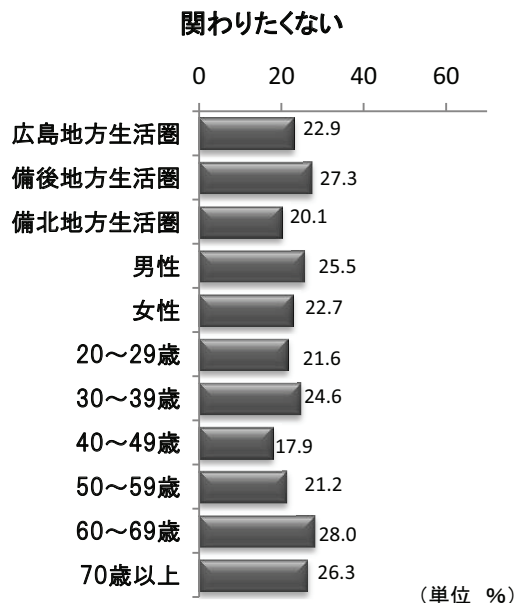
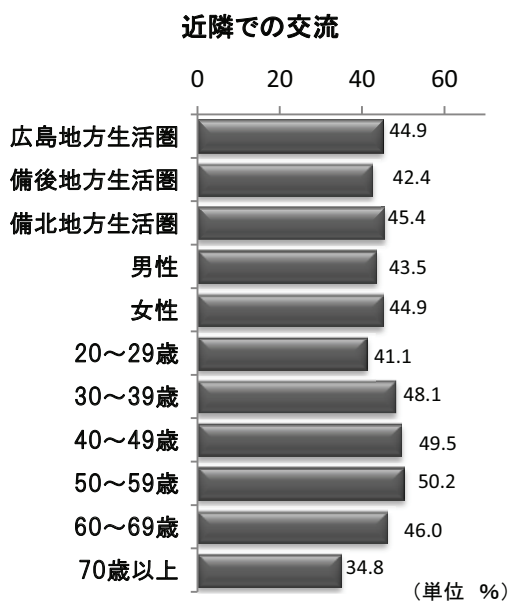
【性別】

すべての項目において、あまり男女差はみられない。

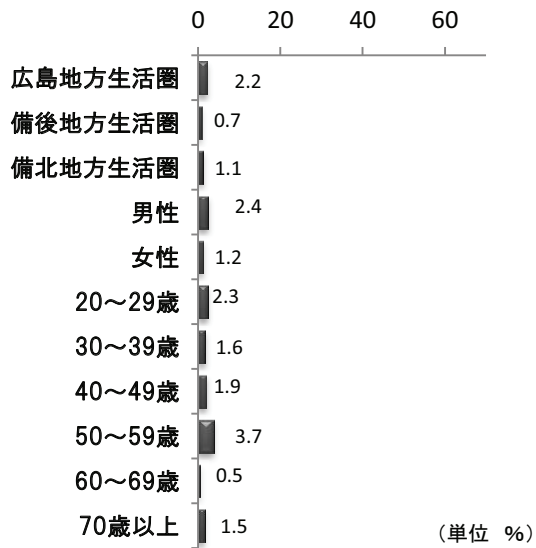
【年代別】

「日本語学習や日本文化理解に関する支援」では、20歳代の回答割合が比較的高くなっている。

地域の国際化を進めるための関わり(生活圏, 性, 年代別)



国際交流市民団体への加盟・運営参加



その他

